

産業・組織心理学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》中川 貴美子 (客員教授 nakagawa-shinri@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

働くこと、組織に属すること、物を売買することなど、本分野は人間の生活行動との密接な関わりを有する。主に「労働」「集団・組織」「職業」「販売・消費行動」の4領域における心理学的・臨床的知見を学び、労働者や組織に対する支援の実践に必要な基本的知識を身につける。

【学修目標】

産業・労働、集団・組織、職業発達、販売・消費行動の特性や主要理論、職場のストレスとメンタルヘルスについての主要事項を理解し、組織における人の行動について概説できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

公認心理師、臨床心理士、2級キャリア・コンサルティング技能士、キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、保健師、看護師

【実務経験を活かした教育内容】

医療現場における医療職としての経験及び産業現場における心理職としての経験(カウンセリング、コンサルティング、求職者支援、リワーク等)を活かし、理論を実践につなげる面白さや、実際の社会の中で起こっている心理学的課題について伝える。